

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現させよう！》

『さようなら原発 1000 万署名』は、2013/06/30 集計 + オンライン署名増加分 = 8,286,933 人分になっています。1000 万筆達成まで続けられます。脱原発の旗を高く掲げて粘り強く呼びかけましょう。

原発事故の後始末

6月29日(土)の朝日新聞・第一面に衝撃を受けた人は多いと思います。『被曝量、自己管理を提案』という大見出しの後、『福島で政府説明会 再除染認めず』『線量計、希望者に』と小見出しが続きます。

更に3ページの記事では、『被曝 住民に責任転嫁』『なし崩しで帰還の流れ』との見出しがあり、政府が明らかに福島の住民を完全に切り捨て、原発再稼働、新設工事推進の方針を強行している動きを伝えています。

政府はこれまで「被曝線量が年間1ミリシーベルト以上の地域を国の責任で除染する」と言ってきました。ところが、除染作業は大幅に遅れ、一回では線量が下がらない地域も相次ぎ、住民にとって除染完了を前提とした帰還計画は頓挫したままです。

そこへ、このたびの「住民の自己責任で被曝量を管理すること」を条件に「希望者は帰宅してよい」との政府提案。政府が無償配布する線量計を使って各自暮らし方を工夫するように促しています。全く無責任な棄民政策としか言いようがないと思います！政府の狙いが、帰宅者を増やし避難区域を解除すること、それによって賠償金を打ち切ること、更に再除染のための膨大な費用をカットすることにあるのは明白です。

遡って6月23日、沖縄慰霊の日。安倍首相は「国民の負担を少しでも軽減するよう全力を尽くすことを改めて誓います」とペーパーを読みあげました。福島の惨事についても、国会答弁でこれと同じ言葉を繰り返しています。そして現実には全く反対の方向に舵を切っています。日本は、一体どうなってしまふのか？納税者である我々国民はもっと怒るべきではないでしょうか？

「再処理とめたい定例デモ in 渋谷」

(再処理中止！もんじゅ廃炉！原発再稼働反対！)

7月15日(月・祝日) 13:30~

集合場所：JR渋谷駅から徒歩約5分「宮下公園」(原宿寄り)
(「さようなら原発 1000 万人署名」を12時30分から、宮下公園隣りで原宿寄りにある「神宮通り公園」前で行う予定です。ご協力をお願いします。)

集会開始：13:30 / デモ出発：14:00

デモコース(予定)：旧東電渋谷支社前 ~渋谷区役所公園通り ~ハチ公前交差点 ~明治通り ~神宮通り公園 (解散)

主催：再処理とめたい！首都圏市民のつどい

呼びかけ団体：原水爆禁止日本国民会議 / プルトニウムなんていらぬよ！東京 / 福島老朽原発を考える会 / たんぽぽ舎 / 日本山妙法寺 / 日本消費者連盟 / ふえみん婦人民主クラブ / グリーンピース・ジャパン / 原子力資料情報室
問い合わせ：03-5289-8224 (原水爆禁止日本国民会議)

子どもの安全な場所での教育を求める

「ふくしま集団疎開裁判」支援活動にご参加下さい！

■霞ヶ関アクションは毎月第1金曜日に開催します。(7月は5です) 文科省前に午後6時30分にお集まりください。

■有楽町アクションは毎月第3土曜日に開催します。(7月は20日です) 数寄屋橋交差点に午後1時にお集まりください。

連絡先：光前法律事務所 (Fax・03-5412-0829)

7月27日(土)18:30~21:00

講演会

「放射能汚染とどう向き合うか—被曝について分かっていることと良く分からないこと—」 (開場 18:00)

講師：今中哲二さん(京都大学原子炉実験所) / 会場：文京区民センター2F 会議室(地下鉄春日駅A2 出口徒歩2分) / 参加費：1000円 (予約不要・当日先着順300人まで) / 主催：「終焉に向かう原子力」実行委員会 / 連絡先：TEL・FAX 03-3739-13 / 携帯：090-9137-2437

憲法の伝道師と呼ばれる
伊藤真弁護士語り下ろしDVD
「憲法ってなあに？」
憲法改正ってどういうこと？」

(2013年4月27日収録・55分)

大変分かり易い解説が大好評です。

ご家庭に是非1枚どうぞ。

プレゼントにもぴったりです！

定価：500円

企画・販売：ワーカーズ・フォー・ピース【Fax・03-5382-3220】までご注文ください。本紙へのTel&Faxでも承ります。集会等でも大いにご利用下さい！

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。